

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 障害者に対する支援と 障害者自立支援制度		授業の種類 (講義)・演習・実習		授業担当者 濱田 新	
回数 15回	時間数 (単位数) 30時間	配当学年・時期 1年 前期		必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害概念と特性をはじめ障害者福祉の理念、歴史、生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題について、理解を深める。 2. 障害者に対する法制度の全体像や主な障害者関連法、発展過程について理解を深める。 3. 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割や支援の実際について理解を深める。 					
【授業全体の内容の概要】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会と障害及び障害者について学ぶ。 2. 障害者の福祉需要の把握方法について学ぶ。 					
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における障害者福祉の理念と意義について説明ができる。 2. 障害者福祉に関する法とサービス体系について説明ができる。 					
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者の定義や特性、国際生活機能分類 (ICF) と障害の社会モデル 2. 障害観の変遷、障害者福祉の理念 3. 障害者処遇の変遷、障害者福祉制度と発展過程 4. 障害者福祉制度と当事者運動、障害者権利条約と障害者基本法 5. 障害者の生活実態、障害者と家族、障害者を取り巻く社会環境と課題 6. 障害者に対する法制度の全体像、身体障害者福祉法 7. 知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法) 8. 児童福祉法、発達障害者支援法 9. 障害者総合支援法 10. 障害者虐待防止法、障害者差別解消法、バリアフリー法 11. 障害者雇用促進法、障害者優先調達推進法 12. 関係機関と専門職の役割と実際① (専門職の価値・倫理、専門職) 13. 関係機関と専門職の役割と実際② (専門職の役割と実際) 14. 障害領域におけるソーシャルワーカーの役割や多職種連携を含む支援の実際 15. まとめ、国家試験過去問/国家試験対策/試験範囲説明 <p>前期末試験</p>					
【使用テキスト・参考文献】 最新・社会福祉士養成講座 「障害者福祉」 中央法規 社会福祉小六法2021 [令和3年版] ミネルヴァ書房			【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、前期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。		